



紙芝居を読んでみよう！言語表現3級に挑戦！

生活科学科では、以下の表のように、保育技術検定（以下、保育検定）の合格を目標に日々の授業を頑張っています！そして、これまでに紹介したように、保育検定には「造形表現」・「言語表現」・「家庭看護」・「音楽リズム表現」の4種類があります。

その内、言語表現では童話や物語、紙芝居などの読み聞かせを通して、幼児の発達段階にふさわしい言語表現の基本的技術を身につけることを目的としています。また、自分自身でお話を創作し、そのお話を適切な表現かつ時間内で読み聞かせるために必要な言語表現に関する知識や技術習得も目標にしています。

そして、今回は、保育コース・生活福祉コースの2年生が保育検定の言語表現3級合格に向けて取り組んでいる実習の様子をお伝えします。



学年	合格を目標とする検定名
保育コース2年生全員・生活福祉コース2年生希望者	言語表現4、3級
保育コース3年生全員・生活福祉コース3年生希望者	言語表現2、1級



言語表現3級では、指定された年齢にふさわしい紙芝居を用いて、その年齢の幼児に対して適切な読み聞かせをするための基本的技術を身につけることを目標にしています。その年齢の幼児が目の前にいるつもりで、制限時間3分の中で、紙芝居の読み聞かせを行います。



紙芝居は淡々と読み進めるのではなく、しっかり感情を込めて表現したり、言葉の表現や間の取り方が適切であることなどが重要になってきます。恥ずかしがらずに、何度も繰り返しの練習が大事です！全員合格できるように頑張りましょう^^

